

授業改善推進プラン

○授業改善の方策 ・具体的な取組

	7年	8年	9年
国語	<p>○学習の見通しをもたせる授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の初めに学習シートを用いて、毎時間の目標を説明する。また、単元の途中にも学習の目標を伝える。 <p>○ICT機器の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書を活用して、どの部分を学習しているのかを視覚的に支援していく。 <p>○年間を通した漢字テスト等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週漢字テストを行い、長期休業後には漢字50問テストを行い、漢字の書き取りの力を高める。 <p>○AIドリルの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 文法などの知識の復習として定期的に文法を復習する単元のAIドリルを活用して、学習の定着を図る。 	<p>○学習の見通しをもたせる授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の初めに学習シートを用いて、毎時間の目標を説明する。また、単元の途中にも学習の目標を伝える。 <p>○対話的な学びの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 各生徒が素晴らしい考えをもっているため、日常の学習から発言を生かし、生徒間の学び合いをしながら課題を解決していく学習を展開していく。 <p>○AIドリルの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典的仮名遣いを現代仮名遣いに直すAIドリルを定期的に活用して、学習の定着を図る。 	<p>○学習の見通しをもたせる授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の初めに学習シートを用いて、毎時間の目標を説明する。また、単元の途中にも学習の目標を伝える。 <p>○話し合い活動や意見交換の時間の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 各生徒素晴らしい考えをもっているため、自分の考えを伝えたり、他の生徒の視点から考え方を学んだりする時間を単元ごとに入れ、発言することに自信をもたせる。 <p>○説明的文章を批評する授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明的文章の単元において構造を図式化しながら、主張と根拠(具体例)の関係など理解させ、主張と根拠に妥当性があるかなどの批評する授業を行い、説明的文章の内容理解に努める。 <p>○AIドリルの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明的文章の読解の方法などの復習や文法などの知識の復習として定期的に文法を復習する単元のAIドリルを活用して、学習の定着を図る。
社会	<p>○生徒が物事の密接な結びつきに気付けるような授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料から読み取ったことや気づいたこと、考えたことを説明させる場を多く設ける。 文章の資料から読み取る活動を増やす。 これまでに学習してきた内容を活用する場を用意する。 AIドリル等の活用により基本的な知識の定着を図る。 	<p>○学習で身に付いた力をより確かに定着させる授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返りやすいワークシートを作る。 双六などゲーム感覚で学習を振り返るツールを作成し活用する。 AIドリル等の活用により基本的な知識の定着を図る。 	<p>○学習した内容を長期的に記憶するために、定期的に基本的な知識や技能の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返りやすいワークシートを作る。 双六などゲーム感覚で学習を振り返るツールを作成し活用する。 これまでに学習してきた内容を活用する場を用意する。 AIドリル等の活用により基本的な知識の定着を図る。
数学	<p>○学習シートの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習シートの記述量を減らし、後から見ても参考にしやすい内容に改善する。 <p>○自分のことばで考え方の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> データの活用に関する問題だけでなく記述問題に対応するため、自分の考え方を記述する場面を増やしていく。また、記述した内容を発表する場面を増やしていく。 <p>○問題演習の時間設定</p> <ul style="list-style-type: none"> テストや定期考査でケアレスミス減らすため、授業の演習時間を決めて、時間内に問題を解く練習をしていく。 <p>○ICT機器の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書を活用して、関数分野や図形分野で視覚的効果を活かした授業を行う。 AIドリルを活用して、基礎的・基本的な計算問題の定着と苦手分野の克服を図る。 	<p>○学習シートの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習シートの記述量を減らし、後から見ても参考にしやすい内容に改善する。 <p>○問題演習の時間設定</p> <ul style="list-style-type: none"> テストや定期考査でケアレスミス減らすため、授業の演習時間を決めて、時間内に問題を解く練習をしていく。また、単純な問題についても問題文をよく読んで解く練習をしていく。 <p>○ICT機器の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書を活用して、関数分野や図形分野で視覚的効果を活かした授業を行う。 AIドリルを活用して、基礎的・基本的な計算問題の定着と苦手分野の克服を図る。 	<p>○学習シートの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習シートの記述量を減らし、後から見ても参考にしやすい内容に改善する。 <p>○STEP2や放課後学習の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> STEP2を単元、項目毎に取り組めるようにする。苦手分野を学年を遡って、演習できるようにする。 <p>○ICT機器の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書を活用して、関数分野や図形分野で視覚的効果を活かした授業を行う。 AIドリルを活用して、基礎的・基本的な計算問題の定着と苦手分野の克服を図る。
理科	<p>○授業構成と学習の振り返り方法を改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標を明示し、目標に応じて生徒が毎時間の学習内容を理解できる構成にする。 振り返りの方法は大分精選できたので、適切な時間を確保する。振り返りで事後の学習に役立つ記述が行えるように助言する。ICTの使用方法について整理し、適材適所に使用できるようにする。 <p>○学習内容理解のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒は積極的に発問できているので、理解した学習内容を深めるために、興味・関心のもてる内容の追加や発問を工夫する。 定量的な学習内容の理解のため、単位変換や計算方法の理解のために演習を行う。 小テスト等の問題演習で基礎的な内容の理解を確認する。 定期考査前に学習内容を振り返り、定期考査後に個人面談を実施し、成果と課題を確認する。 タブレットPC使用方法習得を支援し、デジタル教科書やAIドリルを活用して個別学習や協働学習を行う。 	<p>○授業構成と学習の振り返り方法を改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標を明示し、目標に応じて生徒が毎時間の学習内容を理解できる構成にする。 振り返りの方法は大分精選できたので、適切な時間を確保する。振り返りで事後の学習に役立つ記述が行えるように助言する。ICTの使用方法について整理し、適材適所に使用できるようにする。 <p>○学習内容理解のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に生徒と教師の間で発問を行い、学習内容の定着に努める。 小テスト等の問題演習で基礎的な内容の理解に努める。定量的な学習内容の理解のため、グラフ作成やデータ分析を適切な支援する。 定期考査前に学習内容を復習し、成果の向上につなげる。定期考査後に個人面談を実施し、成果と課題を確認する。 タブレットPCを有効に活用できるように支援し、デジタル教科書やAIドリルを活用して個別学習や協働学習を行う。 	<p>○授業構成と学習の振り返り方法を改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標を明示し、目標に応じて生徒が毎時間の学習内容を理解できる構成にする。 振り返りの方法は大分精選できたので、適切な時間を確保する。振り返りで事後の学習に役立つ記述が行えるように助言する。ICTの使用方法について整理し、適材適所に使用できるように努める。 <p>○学習内容理解のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒への発問の機会を増やす。小テスト等で計算問題の演習を行い、基礎的な内容の理解の定着に努める。主に物理の授業では、実験内容やデータの理解に重点を置いた授業を心がける。 定期考査前に特に基礎的な学習内容の確認を行う。定期考査後の個人面談により、成果と課題を確認する。 タブレットPCを適切に使用できるように支援し、デジタル教科書やAIドリルを活用して個別学習や協働学習を行う。
音楽	<p>○題材のねらい・学習の流れの示し方やワークシートの構成を改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって取り組めるよう、毎時間に本時の活動の流れを分かりやすく板書で示して説明し、いつでも確認できるようにする。 題材のねらいの文言を工夫し、生徒の活動の動機付けとなるような示し方ができるようにする。 <p>○様々な曲を繰り返し取り上げ、確実な知識の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> お互いに聴き取った事を発表する場面を増やす。 題材をまたいで、新しい曲を学習する際に、楽譜に書いてあることを音楽の要素に分けてチェックする活動を行う。 	<p>○題材のねらい・学習の流れの示し方やワークシートの構成を改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって取り組めるよう、毎時間に本時の活動の流れを分かりやすく板書で示して説明し、いつでも確認できるようにする。 題材のねらいの文言を工夫し、生徒の活動の動機付けとなるような示し方ができるようにする。 <p>○様々な曲で繰り返し取り上げ、確実な知識の定着を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 題材をまたいで、新しい曲を学習する際に、楽譜に書いてあることを音楽の要素に分けてチェックする活動を行う。 	<p>○題材のねらい・学習の流れの示し方やワークシートの構成を改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって取り組めるよう、毎時間に本時の活動の流れを分かりやすく板書で示して説明し、いつでも確認できるようにする。 題材のねらいの文言を工夫し、生徒の活動の動機付けとなるような示し方ができるようにする。 <p>○称賛や励ましの声掛けで自信をもって歌うことができるような指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> お互いに聴き合ったり、ICT機器を用いて練習時間を十分に確保したりすることで技能を高める。

○授業改善の方策 ・具体的な取組

	7年	8年	9年
美術	<p>○見通しと振り返りの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習シートを学習の終わりだけでなく、学習の始めに開き、前時に記入した振り返りを確認する。 前時でできたこと、できなかったことを確認後、本時の見通しを確認して、何をどのように進めたらよいか、自分で考える時間をつくる。 授業の終わりに、本時の学習（制作）で何を学んだのか、理解したのかを振り返り、学習の定着を確認する。 <p>○伝え方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてや学習内容のポイントになる部分を強調し、大事な部分は何なのか理解できるように伝えていく。 	<p>○見通しと振り返りの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習シートを学習の終わりだけでなく、学習の始めに開き、前時に記入した振り返りを確認する。 前時でできたこと、できなかったことを確認後、本時の見通しを確認して、何をどのように進めたらよいか、自分で考える時間をつくる。 授業の終わりに、本時の学習（制作）で何を学んだのか、理解したのかを振り返り、学習の定着を確認する。 <p>○発想を豊かにする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> さらに表現の幅が広がるように、美術室内の環境を整え、画材や資料など気軽に使えるようにする。 	<p>○見通しと振り返りの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習シートを学習の終わりだけでなく、学習の始めに開き、前時に記入した振り返りを確認する。 前時でできたこと、できなかったことを確認後、本時の見通しを確認して、何をどのように進めたらよいか、自分で考える時間をつくる。 授業の終わりに、本時の学習（制作）で何を学んだのか、理解したのかを振り返り、学習の定着を確認する。 <p>○発想を豊かにする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> さらに表現の幅が広がるように、美術室内の環境を整え、画材や資料など気軽に使えるようにする。
保健体育	<p>○生徒に単元の見通しと、1単位時間の見通しをもたせ、より主体的に取り組む態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の実践を通して楽しさや喜びを味わいながら実践し、自分の課題を発見し解決に向けて自分や仲間の考えを伝えることができるように学習シートを工夫する。 毎時間の「目標」「授業の流れ」「技能ポイント」等の掲示を行う。 学習プリントに、「単元の目標」「単元の流れ」「1単位時間の流れ」を記載する。 話し合い活動を充実させるために、iPad、chromebook の活用を計画に取り入れる。 学習シートの自己評価欄における評価基準、技能ポイントを充実させる。 保健体育科独自の授業アンケートを Googleforms で行う。 	<p>○生徒に単元の見通しと、1単位時間の見通しをもたせ、より主体的に取り組む態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の実践を通して楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践するとともに、自分の課題を発見し解決に向けて思考し、判断する中で自分や仲間の考えを伝えることができるように学習シートを工夫する。 毎時間の「目標」「授業の流れ」「技能ポイント」等の掲示を行う。 学習プリントに、「単元の目標」「単元の流れ」「1単位時間の流れ」を記載する。 話し合い活動を充実させるために、iPad、chromebook の活用を計画に取り入れる。 学習シートの自己評価欄における評価基準、技能ポイントを充実させる。 保健体育科独自の授業アンケートを Googleforms で行う。 	<p>○生徒に単元の見通しと、1単位時間の見通しをもたせ、より主体的に取り組む態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の実践を通して楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるよう運動や体力の必要性について理解し、自己課題の合理的解決に向けて思考し、判断する中で自分や仲間の考えを他者に伝えることができるように学習シートを工夫する。 毎時間の「目標」「授業の流れ」「技能ポイント」等の掲示を行う。 学習プリントに、「単元の目標」「単元の流れ」「1単位時間の流れ」を記載する。 話し合い活動を充実させるために、iPad、chromebook の活用を計画に取り入れる。 学習シートの自己評価欄における評価基準、技能ポイントを充実させる。 保健体育科独自の授業アンケートを Googleforms で行う。
技術	<p>○学習シートの記入方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業中心の授業展開の場合は、見通しについては、ワークシートに事前に表記する。授業の振り返りについては、授業内容により記入時間が十分確保できない場合があるため選択式の振り返り内容に変更する。 タブレット端末で学習の記録をまとめさせ、他者の学習の取り組みを知ることのできる深い学びにつなげる。 	<p>○学習シートの記入方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業中心の授業展開の場合は、見通しについては、ワークシートに事前に表記する。授業の振り返りについては、授業内容により記入時間が十分確保できない場合があるため簡単な記述式、選択式の振り返り内容に変更する。 タブレット端末で学習の記録をレポート形式でまとめさせることを通して自己と他者の学習の取り組みを比較させて深い学びにつなげる。 	<p>○学習シートの記入方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業中心の授業展開の場合は、見通しについては、ワークシートに事前に表記する。授業の振り返りについては、記述式、選択式の振り返り内容に変更する。 タブレット端末で学習の記録をレポート形式でまとめさせることや他者の意見を参考にするを通して自己と他者の学習の取り組みを比較させて深い学びにつなげる。
家庭	<p>○学習を振り返る時間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習シートを活用し、学習内容を振り返ることができるようにする。じっくりと考える時間を取るために5分は時間を取るようにする。記述したことを発表する時間を取ることで、他者の意見から考えを深めたり、広げたりできるようにする。 題材のまとめりごとに、導入で見通しをもたせ、題材の終わりには自分ができるようになったこと、分かったことを記述することで、自分の思考の深まりを客観的に見られるようにする。 <p>○自分の考えを記述する活動の積極的な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの際には、まず自分の考えを記述する時間を確保し、自分の考えを整理してから話し合いに臨めるようにする。 ねらいに沿って自分の考えを記述できるように、視点を明確にしたり、書き方の例を示したりする。生徒の提出物は丁寧に添削し、良かったところや改善点を具体的に伝えるようにする。 	<p>○学習を振り返る時間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習シートを活用し、学習内容を振り返ることができるようにする。じっくりと考える時間を取るために5分は時間を取るようにする。記述したことを発表する時間を取ることで、他者の意見から考えを深めたり、広げたりできるようにする。 題材のまとめりごとに、導入で見通しをもたせ、題材の終わりには自分ができるようになったこと、分かったことを記述することで、自分の思考の深まりを客観的に見られるようにする。 <p>○生徒の生活まで見通した授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 題材の導入では、生徒の生活から問題を見付け、課題を設定することで、生活をよりよくするという意識をもって学習に取り組めるようにする。 家庭で実践する課題を積極的に取り入れる。具体的には、住まいの安全対策の方法を学習した後に、自分の住まいを見直す活動を取り入れたり、地域でよく食べられる食材を取り入れた調理実習を行ったりする。 題材に入る前に題材に関するアンケートを実施し、生徒の生活経験などを把握した上で授業を行うようにする。 	<p>○学習を振り返る時間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習シートを活用し、学習内容を振り返ることができるようにする。じっくりと考える時間を取るために5分は時間を取るようにする。記述したことを発表する時間を取ることで、他者の意見から考えを深めたり、広げたりできるようにする。 題材のまとめりごとに、導入で見通しをもたせ、題材の終わりには自分ができるようになったこと、分かったことを記述することで、自分の思考の深まりを客観的に見られるようにする。 <p>○話し合いの手立ての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの前には自分の考えをまとめる時間をつくり、自信をもって話し合いに臨めるようにする。 話し合いでは役割や視点、ゴールを明確にすることで、生徒主体でスムーズに話し合いができるようにする。 <p>○保育園と連携して、保育実習に限らず、幼児とかかわる機会の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児との上手なかかわりについて自分の課題を設定し、生徒が設定した課題に合わせて授業展開を工夫しする。 「幼児が○○の場面のときにどのように対応するか」など、より実践的な学習内容を工夫する。
外国語	<p>○生徒が興味・関心をもって主体的に取り組める授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心をもてる英語を使ったアクティビティ (Small Talk, Interview) をより活用する。 <p>○生徒が分かったと感じる授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 何を学んだかを Lesson ごとに振り返ることができるよう、ワークシートを工夫する。 一度学習した文法事項をスパイラルで使う機会を与え、繰り返し触れながら定着させる。 <p>○リスニングの積極的な導入と単語や文章を書く練習の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> Lesson の GET 毎での導入でリスニングをより強化し、またその中の Listen を活用し、リスニング力をつける。音読練習にも力を入れ、英語の音に慣れさせる。 単語や文章をノートに書くだけでなく、小テストを行い、基礎適・基本的な事項の定着を図る。 <p>○学習者用デジタル教科書を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が学習者用デジタル教科書で自分のペースで音読練習できるようにする。 	<p>○生徒が興味・関心をもって積極的に取り組める授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心をもてる英語を使ったアクティビティ (サイロ Talk, Skit) をより活用する。 <p>○生徒が分かったと感じる授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 何を学んだかを Lesson ごとに振り返ることができるよう、ワークシートを工夫する。 一度学習した文法事項をスパイラルで使う機会を与え、繰り返し触れながら定着させる。 <p>○語形・語法の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> POINT 文や本文の英文を学ぶ際に、語形・語法についてより詳しい説明をする。また、独自のワークシートを作り、語形・語法の知識を増やす。 <p>○学習者用デジタル教科書を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が学習者用デジタル教科書で自分のペースで音読練習できるようにする。 	<p>○生徒が興味・関心をもって積極的に取り組める授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心をもてる英語を使ったアクティビティ (Pair work, Discussion) をより活用する。 <p>○生徒が分かったと感じる授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 何を学んだかを Lesson ごとに振り返ることができるよう、ワークシートをより工夫する。 一度学習した文法事項をスパイラルで使う機会を与え、繰り返し触れながら定着させる。 <p>○読解力と英作文力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 読解力：Lesson の中で読解が中心の USE Read を活用する。また、独自の読解用ワークシートを作り、英文読解に慣れさせる。長文読解の機会を多くし、読解力を付けさせる。 英作文：Lesson の Write や Project を活用する。生徒が語形・語法の知識を付けられる独自の英作文ワークシートを作り、英語で文章を作ることに慣れさせる。 <p>○学習者用デジタル教科書を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が学習者用デジタル教科書で自分のペースで音読練習できるようにする。